

チケット

前売 全日フリーバス+交流会バス/3,000円(45セット限定)
 当日 1プログラム券/1,000円 小学生以下 800円
 豊齢手帳・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで800円となります。
 (バリアフリープログラムのみ、500円 付き添いの方は無料)

プレイガイド/8月20日発売
 ・せんだいメディアテーク1F クレブススクールカフェ ・e+(イープラス)



アクセス

地下鉄/仙台駅から泉中央行きで3分、
 勾当台公園駅下車。「公園2」出口から徒歩約6分
 バス/仙台市営バス
 仙台駅前-29番(荘内銀行前)のりばから
 「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行で
 約10分、メディアテーク前下車
 徒歩/仙台駅より約20分(約1.8km)

協賛

自由なイメージと
自由な表現をかなえる
イベントホール

sunfesta

多彩に総合的に
ビジネス空間を提供
卸町会館

未来の
ミュージシャンたちの
異空間練習BOX

MOX

協同組合
仙台卸商センター
〒984-8651
仙台市若林区卸町
二丁目15-2
tel: 022-235-2161

TRUNK
CREATIVE
OFFICE
SHARING

WWW.
TRUNK-
COS.COM

仙台市若林区卸町2-15-2卸町会館5F

東北芸術工科大学

仙台市との
連携に基づく
大学院修士
課程に在籍
し、実務教員
指導のもと、
映画を始めと
するコンテン
ツ業界及び
作品制作の
理論・実践
を学べます。
映画制作現
場でのイン
ターンシップ等、
実践的教育を実施! 修了生は、
映画・ゲーム・アニメ・web
等のコンテンツ業界で活躍
しています。

大学院
仙台
スクール

映画、
アニメ、
ゲーム、
事業・
商品開発

入学出願・資料請求受付中!

東北芸術工科大学大学院仙台スクール
仙台駅前 AER7F 022-716-6377

街・店・人をつなぐタウン誌

8・9月 盛夏号
定価300円

発売中

これまででもこれからも
益々よろしくお願ひします

今野印刷株式会社
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-10
tel.(022)288-6123 fax.(022)288-0138
www.konp.co.jp

www.sendaimiyagi-fc.jp

迅速・的確・真心こもった対応がモットーです。

せんだい・宮城フィルムコミッション
Sendai Miyagi Film Commission

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-3-9-3F (財団法人仙台観光コンベンション協会内)
TEL.022-268-9603 FAX 022-268-6252
E-mail: info@sendaimiyagi-fc.jp http://www.sendaimiyagi-fc.jp/

仙台短篇映画祭11

SENDAI SHORT FILM FESTIVAL



会場:せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

主催:仙台短篇映画祭実行委員会 共催:せんだいメディアテーク

後援:河北新報社/朝日新聞仙台支局/読売新聞東北総局/毎日新聞仙台支局/
 産経新聞社東北総局/日本経済新聞社仙台支局/仙台リビング新聞社/
 @仙台放送局/仙台放送/TBC東北放送/仙台放送/仙台放送/S-style/
 Date fm/仙台放送/仙台市教育委員会/仙台商工会議所

協賛:せんだい・宮城フィルムコミッション/今野印刷株式会社/協同組合 仙台卸商センター/
 東北芸術工科大学・大学院仙台スクール/クレブススクール・カフェ/
 一蔵/仙台市役所/「八幡町店/定禅寺通店」/田沼製菓

協力:せんだい・宮城フィルムコミッション/桜井薬局セントラルホール/フォーラム仙台/チネ・ラヴィータ/
 日本国際映画祭/なら国際映画祭/水戸短期映画祭/文化庁メディア芸術祭ネットワークス
 (平成23年度文化庁メディア芸術祭国内巡回事業)/プレスアート
 smt日本語字幕制作ボランティア・smt音声解説制作ボランティア/京都精華大学/
 宮城県発明協会/Festival Court Métrange/仙台国際交流協会/東北工業大学 猿渡研究室

助成:芸術文化振興基金

イベントお問い合わせ

仙台短篇映画祭実行委員会
 〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
 Tel:080-3146-6085/080-3194-1202(庄司) E-mail: info@shortpiece.com
 「仙台短篇映画祭」ウェブサイト www.shortpiece.com/

ショートピース!

2011.9.17(sat)~19(mon/holiday)



映
画
は
い
く
つ
な
が
つ
て

この紙はリサイクル紙でできています

今年の仙台短篇映画祭は11年目にして初の映画制作を実施。ショートピースならではの30名を超える監督たちによる3分11秒の制作作品を連日上映します。水戸、奈良、レンヌなど国内外の映画祭との連携上映企画をはじめ、様々な方々とつながって上映するプログラムがいっぱい。被災地上映シンポジウムや交流会などの企画も行ないます。2011年秋の仙台で、映画がつなぐもの、映画でつなぐものを感じてください。

A 3.11 映画制作 9/17 16:30～ / 9/18 13:00～ / 9/19 15:30～ 【18日の上映のみ託児サービスあり】
※制作監督の来場あり(予定) ※上映作品内容に一部変更がある場合がございます。

311 仙台短篇映画祭映画制作プロジェクト作品『明日』 2011年 / 日本 / 130分(予定)

映画が観たい、映画祭がやりたい、映画をつくってほしい…そんな私たちの声を受け止めてくれた、40人の監督たち。3分11秒という制約の中で、それぞれが3月11日以降の自身と対峙し、葛藤を経て産み出した作品をオムニバス形式で綴る。監督たちは、あの日から何を思い、映画というフィルターを通してどんな「明日」を私たちに見せてくれるのか。被災地から発信する40篇のものがたりに御期待ください。



B みんなで観よう! サンリオ・アニメーション 9/17 11:00～ 【託児サービスあり】

バリアフリー上映とは、すべての人が映画を楽しめる、日本語字幕・音声解説つきの上映スタイルです。本映画祭で三回目となる今年は、ジブリに先んじて質の高い作品を次々に世に送り出してきた、貴重な日米合作(日本からは吉田善重と伊丹十三が参加)のサンリオ・アニメーション作品を御紹介します。

『星のオルフェウス(メタモルフォセス)』

1979年 / 日本 = アメリカ / カラー / 87分

一神は、愛しあう恋人たちを空にはなち、星にした…。冥界へ墜ちた妻を捜すオルフェウス。メデューサ退治へ向かうペルセウス。父アポロンの炎の車に乗った少年パエトーン…。ギリシャ神話に基づく5つの物語をオムニバス形式で綴る。実に制作期間6年を要した大作であり、鬼才・伊丹十三が脚本・ナレーションを務め、作品に華を添えている。

〈音声解説とは?〉目の不自由な方も映画を楽しめるよう、場面や情景、人物の動作などを音声で伝えるものです。〈日本語字幕とは?〉耳の不自由な方も映画を楽しめるよう、劇中に流れる音やセリフを字幕に起こしたものです。音声解説受信機申込方法 / 受信機をご希望の方は022-713-4484(メディアテーク)へ事前にお申し込みください。

チケット購入・引換えについて

当日券の販売及び回数券の交換は各日10:00より1階オープンスクエア前会場受付にて行います。その日1日分のチケットが購入できます。前売フリーパスはA～Fプログラムと交流会の入場が可能です。前売フリーパスは入場を優先するものではありません。前売フリーパスをお持ちの方も、受付にて必ずご覧になるプログラムとのお引き換えをお願いいたします。チケットのナンバーは入場順ではありません。150席 / 全席自由 / 入替制 / 各回とも開場は上映の10分前となります。満席の場合は入場をお断りすることがございます。ご了承ください。(バリアフリー上映のみ15分前からの入場となります。)理由の如何を問わず、チケットの再発行には対応しかねますのでお気をつけください。

タイムテーブル

| | | | | |
|----------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|
| 17日(土) | B 11:00~ ★ | 無料上映1 13:00~ | C 14:30~ | A 16:30~ |
| 18日(日) | D 10:30~ | A 13:00~ ★ | シンポジウム 16:00~ | 交流会 18:00~ |
| 19日(月・祝) | 無料上映2 10:00~ | E 11:30~ ★ | F 13:30~ | A 15:30~ |

※17日(土)はBプログラム、18日(日)はAプログラム、19日(月・祝)はEプログラムに託児サービスがあります。★託児申込方法 / 託児(1歳半~未就学児。子ども1人150円)をご希望の方は、ファクスまたは電子メールに氏名、住所、電話番号、お子様の年齢(月齢まで)、ご希望日をご記入の上、9/10(必着)までにメディアテーク託児係へお申し込みください。(宛先 / FAX022-713-4485 office@smt.city.sendai.jp)

C レンヌからの贈り物 9/17 14:30~

仙台の姉妹都市、フランスのレンヌ市にて2004年より開催されている映画祭 "Festival Court Metrange"。今年始めてこの映画祭とのプログラム交換上映が実現しました。ファンタジー、SF、アニメ、ホラー…多彩なジャンルを特集してきた映画祭から選りすぐられた、不思議な魅力に満ちた諸作品をどうぞお楽しみください。

『Festival Court Metrange 2010 傑作選』 全9作品 / 全92分

Festival Court Metrange 2010で上映された作品より、約9篇をピックアップ。ほぼ全ての作品が日本初上映となります。少しの毒とウィットを湛ませた、ヨーロッパ発インディーズ映画の豊潤さを味わってください。



D 新しい才能に出会う

ゲスト来場 9/18 10:30~ ロプログラム来場者先着50名様へ"珈琲め坊"の珈琲(1人分セット)をプレゼント!

本映画祭とともに歩んできた公募作品上映プログラム。震災にもかかわらず、96本ものご応募と厚い応援を頂き、今年も開催が可能となりました。選りすぐりの4作品を上映後、富永昌敬監督をコメンテーターに迎え、監督たちと存分に語り合います。

『壁女』 2011年 / 日本 / カラー / 17分

与田仁美の趣味は壁に張り付くこと。そんな趣味の他では何とも冴えない日々を送っている彼女の、恋の物語が今はじまる。監督：原田裕司(はらだゆうじ) 76年生まれ。シナリオ講座37期修了後、自主映画を撮り始める。プライダル撮影の仕事を経て現在はフリーランスの映像制作者として活動中。09年に「カタハイビコウ」がP-LABO 映画祭作品賞を受賞した。



『ご祝儀』 2011年 / 日本 / カラー / 20分

イチゴを買って帰る娘。料理を作って待つ母。静かな母子の昼食に、とある男が乱入する。ただっ広い家の中で起きる、小さな、愛のある物語。監督：甲斐博和(かいひろかず) 77年生まれ。06年、住み慣れたアパートを舞台に映画を撮ろうと自主映画の道に入り、「hanafusa」がびあフィルムフェスティバル審査員特別賞を受賞した。今作は5作目であり、現在は長編を準備中。



『ENCOUNTERS』 2011年 / 日本 / カラー / 20分

マックスは、友人ジョンを誘いのどかな田舎へ失恋旅行に向かう。が、突然怪物が現れ、旅行はエキサイティングなものへと一変する。監督：飯塚貴士(いいつかたかし) 85年生まれ。筑波大学芸術専門大学卒業後、映像制作のためフリーターとなり、「フッペンフィルムスタジオ」を設立。人形を用いた映画制作を続け、09年の「BLUE IMPULSE」が日韓映画映画祭などで上映された。



『PRINCESSE』 2010年 / カナダ / モノクロ / 11分

自宅で囚われの身となっている醜い女性。夫が拾ってきた女との間に芽生え始めた友情か、不誠実な夫への愛か。選択を迫られた彼女は…。監督：Frederick Tremblay(フレデリック・トレンブレイ) 78年生まれ。Cégep de Rivière-du-Loup アニメーションクラス卒業。01年からストップモーション短編の自主制作を開始する。09年の「The Drawer and the Crow」がオタワ国際アニメーション映画祭(カナダ)他の映画祭で7つの賞に輝いた。



【コメンテーター】

富永昌敬(とみながまさのり) 75年愛媛県生まれ。主な作品に「亀虫」「シャーリーの転落人生」「パンドラの匣」「乱暴と待機」などがある。最新作は「庭にお願い」「アトムの足音が聞こえる」のドキュメンタリー2作品。



E 水戸短編映像祭 presents みとタンペンセレクション in 仙台 9/19 11:30~ 【託児サービスあり】

次代を担う作り手たちの登竜門として多彩な才能を世に送り出している「水戸短編映像祭」より、近年のコンペティション部門受賞作から厳選した注目作を上映。リアルタイムな「発見」の場を、映画祭の枠を越えてお届けします。

『浴槽と電車』 2009年 / 日本 / カラー / 33分

第14回コンペティション部門グランプリ 監督・脚本：甲斐博和(かいひろかず) 東京・日暮里の風景に寄り添いながら、一組の兄妹と一組の恋人のすれ違いと和解の軌跡を繊細な演出で描いた力作。



『普通の恋』 2009年 / 日本 / カラー / 45分

第13回コンペティション部門奨励賞 監督・脚本・編集・美術・衣装：木村承子(きむらしょうこ) 思春期の少女の性の目覚めと心の揺れを、独自のセンスで作られたヴィジュアルで描いた異彩を放つ快作。



F 3.11 A Sense of Home Films なら国際映画祭 2011年 / 60分(予定)

本映画祭の311映画制作プロジェクト「明日」に触発され、なら国際映画祭エグゼクティブディレクター河瀬直美からの呼びかけにより、海外の作家らが本企画に参加。世界各地それぞれの「A Sense of Home(「家」という感覚)」を映像を通し見直します。

参加監督：

ピクトル・エリセ、河瀬直美、アビチャットボン・ウィーラーセタクン、ジャジャンク、桃井かおり、レスリー・キー、イサキ・ラクエスタ、ボン・ジュノ、チャオ・イェ、山崎都世子、ペドロ・ゴンザレス・ルビオ、アリエル・ロッター、ナジブ・ラザク、ウィスット・ボンニミット、ソー・ヨン・キム、ジョナス・メカス、西中拓史 他



無料上映 1 9/17 13:00~

文化庁メディア芸術祭ネットワークス 上映プログラム

第14回文化庁メディア芸術祭受賞作品、審査委員会推薦作品を上映します。アート、アニメーション、エンターテインメントの各部門から選ばれた、新しい視覚体験や表現の幅の広がりを感じる多彩な作品を是非お楽しみください。

「FMニコの告白」 監督：石田裕康 2009年 / 日本 / カラー / 2分
「アルクアラウンド / サカナクション」 監督：関和亮 2009年 / 日本 / カラー / 4分 他 全10作品



無料上映 2 9/19 10:00~

『NINIFUNI』 2011年 / 日本 / カラー / 42分 出演：宮崎将、ももいろクローバー、山中崇

とある地方都市で起こった事件に関与した青年。彼は車を奪いさ迷った末、人気のない海岸へ辿り着く。数日後、アイドルグループPV撮影隊が訪れ、件の車が発見されたが…。

監督：真利子哲也(まろこてつや) 81年東京生まれ。短編作品「短夏のマンション」[マリコ三十歳]が国内外で高い評価を受ける。初の長編「イエローキッド」が複数の新人監督賞を受賞。最新作は中編「NINIFUNI」。



フォーラム仙台共同企画

フォーラム仙台 【住所】〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-33 【電話番号】022-728-7866 http://www.forum-movie.net/sendai/ ※上映の詳細は後日、映画祭HPで発表します。

『庭にお願い』

今年の「新しい才能」コメンテーターであり、映画制作企画にもいち早く参加表明して下さった富永昌敬監督による初の音楽ドキュメンタリー。今まで耳にしたことのない歌声とメロディ、こぼれギターの色…福岡在住のミュージシャン、倉地久美夫を追って、ジャズミュージシャン菊地成孔をはじめとする関係者へのインタビューや貴重なライブ映像から、その音楽の秘密を迫る。



『アトムの足音が聞こえる』

フォーラム仙台にて、富永昌敬監督のもう一つの音楽ドキュメンタリーを上映!あの「映画アトム」の音響を担当した伝説の音響デザイナー・大野松雄の足跡を辿り、50年に及ぶ映像音響の世界をひも解く。



交流会

今年も開催します!交流会は、地酒などの美味しい飲み物、軽食を楽しみながらゲストの方たちと映画について語り合えるひととき。気になっていたあの人に訊いてみたかったことが訊けるかも。是非お気軽にご来場ください! (協賛：クレプスキュール・カフェ / 一蔵 / 菓匠三全 / 本家がまどや(八幡町店 / 定禅寺通店)) 日時：9月18日(日) 18:00~ 入場料：500円(ワンドリンク付) 会場：クレプスキュール・カフェ(仙台メディアテーク1階)

シンポジウム「その時、映画はどう動いたか」

東日本大震災は、大きな爪痕のみならず、「映画を見たい」と口にすることすらめらわれる重苦しい空気を残していった。一方で、3月中から仙台を含む東北各地で幾つかの映画館が営業を再開し、避難所等での映画上映をコーディネートする動きが生まれだした。映画はその時、各所でどう動いたのか。様々な地域での活動報告を基に、映画をたたく人の心に届けるため、今後どのような取り組みが求められていくのかを考える。

日時：9月18日(日)16:00~17:30 入場料：無料 登壇者：近日、HPにて発表!